与謝野町公共施設白書 施設カテゴリー編



環境衛生施設

14 環境衛生施設

その1 施設の概要

環境衛生施設は最終処分場、し尿処理施設、火葬場や、現在も管理している旧最終処分場、その他施設(ストックヤード、BDF供給施設)です。施設の概要は以下のとおりです。

【環境衛生施設一覧】

■ 最終処分場

施設名	所在地	敷地面積 (㎡)	容量 (㎡)	建設年	運営形態
加悦最終処分場	滝2738番地	9,500m²	50,000㎡	Н8	直営
岩滝最終処分場	男山3353番地	4,600m²	29,000㎡	H11	直営
野田川最終処分場	幾地672番地	9,550m²	55,000㎡	H15	直営

合計 23,650㎡ 134,000㎡

■ その他の環境衛生施設

+tc=n.47	크드 / .	面積	(m³)	建築年	生光心	
施設名	所在地	敷地	敷地 延床		運営形態	
野田川衛生プラント	石川7001番地4	2,928.4m	933.4m	S 39	直営	
阿蘇霊照苑	岩滝 1029番地	1,299.1m	238.0m	S 50	直営	
(会葬者待合所兼事務所)	石/电 1025亩地	1,299.1111	68.2m²	S 63	直営	
ストックヤード	明石29番地1	702.0m²	390.0m	H17	直営	
BDF供給施設	明石29番地1	8.5m ²	8.5m²	H21	直営	
旧加悦最終処分場	加悦奥	14,700.0m	ı	S 53	直営	
旧岩滝最終処分場	岩滝	3,337.0m	1	S 58	直営	
旧野田川最終処分場	幾地	7,000.0m²	1	S 56	直営	

合計 29,975.0㎡ 1,638.1㎡

■最終処分場

最終処分場は旧町時代に整備され、そのまま新町に引き継いで運営しています。収集した不燃物や町民のみなさんに直接持ち込んでいただいた不燃物を埋め立て処分する施設です。それぞれの施設には埋立地を通る雨水を無害な水に処理してから排水する機能があります。また、可燃ごみの焼却炉については、岩滝最終処分場、加悦最終処分場それぞれ1基ずつ設置しています。



加悦最終処分場



岩滝最終処分場



野田川最終処分場

■野田川衛生プラント

昭和38年に野田川町外二町し尿処理組合(のちに野田川環境衛生組合に改称)を設立し、野 田川町、加悦町、岩滝町を処理対象範囲とし、翌昭和 39 年 2 月に供用開始されました。昭和 48 年に増改造を行い、伊根町も対象範囲として、その後は定期的な設備維持改修を行いながら 50 年以 上運営しています。近年の下水道整備により、処理量は減少傾向であるものの、下水道未整備地区は 残ることから、引き続き必要な施設として運営することになります。





全景

管理棟

汚泥処理設備棟







曝気設備



車庫棟

■阿蘇霊照苑

阿蘇霊照苑は昭和 29 年に旧岩滝町で整備され、昭和 38 年に岩滝町外二町(加悦町、野田川 町) 火葬場組合が設立され、施設は組合管理となりました。その後、昭和 50 年に現在の建物に建替 えられました。平成 18 年3月の3町合併後は与謝野町直営となりました。施設には火葬炉を3基備 えており、定期的に維持補修を行い安定運営に努めています。

平成27年4月から運営形態が直営から指定管理制度に移行しました。



斎場



会葬者待合所兼事務所

■ストックヤード

空きびん、空き缶、包装、容器、ペットボトルなどの資源ごみと言われる容器包装類の分別や再資源 化を促進するために整備された施設です。家庭で分別いただいた資源ごみをリサイクル処理場等に搬送 するため一旦保管しています。







びん分け保管ヤード

■BDF 供給施設

BDF とはバイオディーゼル燃料のことで、使用後の天ぷら油を精製し、ディーゼル車の燃料として使用を可能にしたものです。旧岩滝町時代から NPO 法人が主導して実用化を推進してきた経過があり、安定供給実現のために平成 21 年度に整備された給油所です。現在、給食センターの配送車などで利用されており、与謝野町の自然環境保全活動において重要な施設になっています。



外観



内部

■旧最終処分場

旧最終処分場は満杯になって役目を終えた最終処分場です。現在も環境に配慮した管理や廃止に 向けた検査等を行っています。埋められた廃棄物が無害化するまでは、施設から排出する雨水等は処 理を行わなければならず、その経費がかかることになります。







旧加悦最終処分場

旧岩滝最終処分場

旧野田川最終処分場

【施設位置図】



その2 施設の物理的状況

まずは各施設の老朽化状況を見てみましょう。

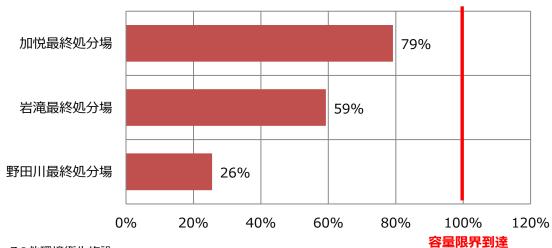
① 老朽化の状況

【環境衛生施設老朽化一覧】

■ 最終処分場 ※埋め立ての可能容量で計算

施設名	構造		耐震性		
/地政石	押 坦	建設年	容量限界到達年	経過率	则浸江
加悦最終処分場	_	Н8	H32	79%	_
岩滝最終処分場	-	H11	H38	59%	-
野田川最終処分場	_	H15	H62	26%	_

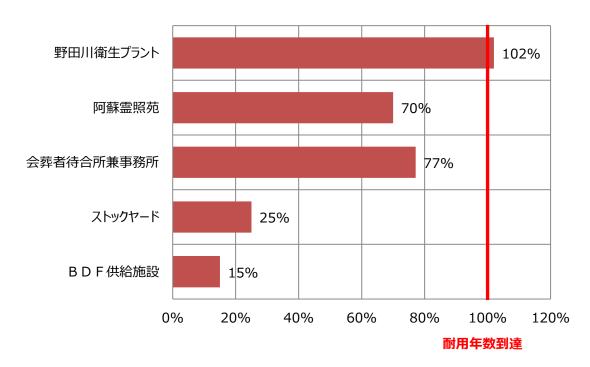
容量限界到達年限は、平成 24 年に実施した残容量調査によるものです。野田川最終処分場が容量も大きく新しいため、あと平成 62 年まで使用できますが、資源ごみの分別を徹底するなどの延命努力が必要です。



■その他環境衛生施設

施設名	構造		耐震性		
地政 石	押 坦	建築年	耐用年数到達	老朽化率	删点记
野田川衛生プラント	鉄筋コンクリート造2階建	S 39	H26	102%	無
阿蘇霊照苑	鉄筋コンクリート造1階建	S 50	H37	70%	無
会葬者待合所兼事務所	木造1階建	S 63	H35	77%	無
ストックヤード	鉄骨造	H17	H57	25%	無
BDF供給施設	鉄骨造	H21	H61	15%	無

※ストックヤードの構造は主となる資源ごみストックヤード部分です。



野田川衛生プラントは建設から 50 年以上が経過し、既に耐用年数を超過しています。設備自体は定期的に維持補修を行っています。管理棟などの建物の老朽化も目立ちます。

阿蘇霊照苑も建設から 40 年経過しています。火葬炉は定期的に維持補修しているため安定稼働が出来ている状況です。

② 防災状況

環境衛生施設の防災状況はご覧のとおりです。避難所指定はありません。最終処分場は郊外の山際を開いて作られていますので、急傾斜地・土石流の警戒区域内にある施設もあり、一部は特別警戒区域に差し掛かっています。利用者の多い施設では阿蘇霊照苑が急傾斜地・土石流の警戒区域にあります。

【環境衛生施設防災状況】

	避難戶	折指定	警戒区域の指定				
施設名	水害	地震	浸水想定区域	土砂災害(特	別)警戒区域		
	小吉	地辰	· 及小忠足区域	急傾斜地の崩壊	土石流		
加悦最終処分場	-	-	-	-	-		
岩滝最終処分場	-	-	-	警戒区域内	警戒区域内		
野田川最終処分場	-	-	-	-	-		
野田川衛生プラント	-	-	-	-	-		
阿蘇霊照苑	-	-	-	警戒区域内	警戒区域内		
ストックヤード	-	-	-	-	-		
BDF供給施設	-	-	-	-	-		
旧加悦最終処分場	-	-	-	警戒区域内	警戒区域内		
旧岩滝最終処分場	-	-	-	-	-		
旧野田川最終処分場	-	-	-	警戒区域内	警戒区域内		

その3 施設の利用状況

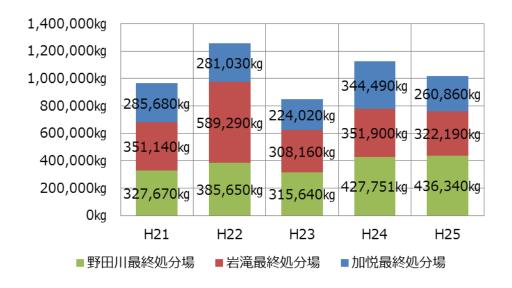
施設ごとに対象となる数値が異なりますので、別々にお示しします。

■ 最終処分場 (直接搬入量)

施設名	搬入量(kg/年)					
)地政石	H21	H22	H23	H24	H25	
加悦最終処分場	351,122kg	281,030kg	212,930kg	344,490kg	260,860kg	
岩滝最終処分場	219,710kg	553,050kg	308,160kg	351,900kg	322,190kg	
野田川最終処分場	228,280kg	386,650kg	315,640kg	427,751kg	436,340kg	
合計	799,112kg	1,220,730kg	836,730kg	1,124,141kg	1,019,390kg	

最終処分場は直接搬入量で見ましょう。この数字は町民のみなさんが直接最終処分場に搬入された量です。年度によって数字にばらつきはあります。

【最終処分場直接搬入量推移グラフ】

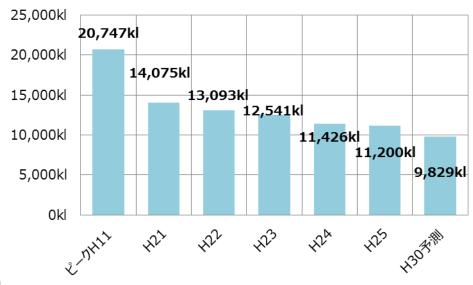


■野田川衛生プラント

施設名		総	処理量(kl/年	Ξ)	
加政石	H21	H22	H23	H24	H25
野田川衛生プラント	14,075kl	13,093kl	12,541kl	11,426kl	11,200kl

野田川衛生プラントは下水道の普及に伴い処理量が減少しています。ピークの平成 11 年と比べて平成 25 年度はほぼ半減しています。近年は横ばいから微減といった傾向で平成 30 年度には 10,000kl を下回る予想になっています。

【野田川衛生プラント処理量推移グラフ】

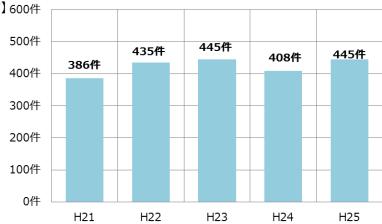


■ 火葬場

施設名			火葬件数		
ルeb又 ⁴ ロ	H21	H22	H23	H24	H25
阿蘇霊照苑	386件	435件	445件	408件	445件

阿蘇霊照苑は町内唯一の火葬場であり、利用件数は横ばいで推移しています。

【阿蘇霊照苑利用件数推移グラフ】600件

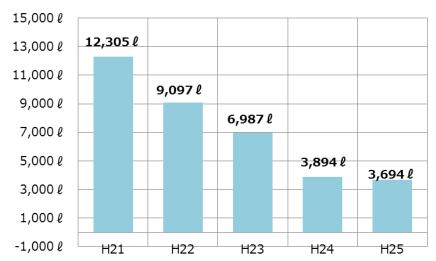


■その他

(ストックヤードは資源ごみの一時保管場所という性質上、搬入量などの利用状況はお示ししません。)

施設名		給	由量(ℓ/年間])	
川也文 石	H21	H22	H23	H24	H25
BDF供給施設	12,305ℓ	9,097ℓ	6,987ℓ	3,894ℓ	3,694ℓ

BDF の給油量は野田川衛生プラントの収集車が利用しなくなったので、大きく減少しています。 【BDF 給油量推移グラフ】



その4 コスト状況

① 管理・運営コスト

管理・運営面での年間コストは以下のとおりです

【環境衛生施設管理・運営コスト一覧】

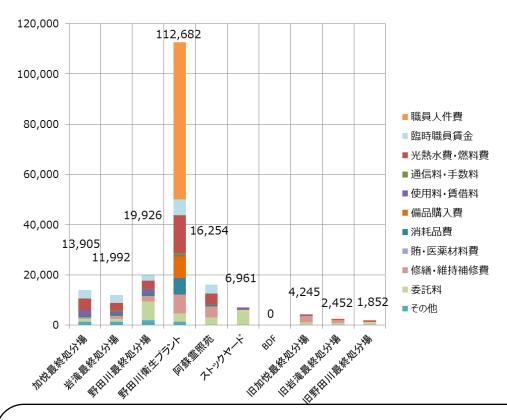
(単位:千円)

光熱水質・燃料質	【境境衛生施設官理・連宮山人ト一覧】 (単位:十円)								
光熱水質・燃料質	項目	加悦最終処分場	岩滝最終処分場	野田川最終処分場	野田川衛生プラント				
通信料・手数料 124 260 155 964	管理臨時職員賃金	3,404	3,233	2,193	6,323				
使用料・賃借料 2,420 1,134 1,910 451 消耗品費 601 696 1,008 6,619 個品購入費 0 0 0 0 0 8,601 所・医薬材料費 0 0 0 0 0 0 0 648 維持補修費 425 1,111 2,040 7,397 委託料 1,271 1,271 7,448 3,464 指定管理料 0 0 0 0 0 0 0 6,2660 0 0 0 0 6,2660 0 0 0 0 6,2660 0 0 0 0 6,2660 0 0 0 0 0 6,2660 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	光熱水費·燃料費	4,360	2,987	3,172	14,918				
消耗品費 601 696 1,008 6,619 偏品關入費 0 0 0 0 8,601 所 医薬材料費 0 0 0 0 0 0 0 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	通信料·手数料	124	260	155	964				
備品購入費 の 0 0 0 0 0 7,500 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	使用料·賃借料	2,420	1,134	1,910	451				
所・医薬材料費 0 0 0 0 修繕・維持補修費 425 1,111 2,040 7,397 委託料 1,271 1,271 7,448 3,464 指定管理料 0 0 0 0 その他 1,300 1,300 2,000 1,285 合計 13,905 11,992 19,926 50,022 参考: 職員人件費 0 0 0 62,660 項目 阿蘇雷照苑 ストックヤード BDF 旧加忱最終処分場 臨時職員賃金 3,582 0 0 0 62,660 光熱水費 燃料費 4,489 202 0 324 通信料・手数料費 4,489 202 0 324 瀬島高農門、長野村、賃借料 25 614 0 0 70 0 0 0 0 0 70 0 0 0 0 0 0 70 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	消耗品費	601	696	1,008	6,619				
修繕・維持補修費 425 1,111 2,040 7,397	備品購入費	0	0	0	8,601				
委託料 1,271 1,271 7,448 3,464 指定管理料 0 0 2,000 1,285 その他 1,300 1,300 2,000 1,285 合計 13,905 11,992 19,926 50,022 参考:職員人件費 0 0 0 62,660 項目 阿蘇霊照苑 ストックヤード BDF 旧が悦最終処分場 臨時職員賃金 3,582 0 0 0 光熱水費・燃料費 4,489 202 0 324 通信科・手数料 39 0 0 0 海岸日井 25 614 0 0 海岸日井 25 614 0 0 海岸日井 25 614 0 0 海上日費 49 0 0 0 海管経持棒停費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 砂倉	賄·医薬材料費	0	0	0	0				
指定管理料 0 1,300 1,300 2,000 1,285 6 11,992 19,926 50,022	修繕·維持補修費	425	1,111	2,040	7,397				
その他 1,300 1,300 2,000 1,285 合計 13,905 11,992 19,926 50,022 参考:職員人件費 0 0 0 62,660 項目 阿蘇霊照苑 ストックヤード BDF 旧加悦最終処分場 臨時職員賃金 3,582 0 0 0 光熱水費・燃料費 4,489 202 0 324 使用料・賃借料 25 614 0 0 0 消耗品費 585 0 0 0 321 備品購入費 585 0 0 0 0 修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 音記 16,254 6,961 0 0 0 全世 16,254 6,961 0 4,245 0 0 0 多考:職員人件費 0	委託料	1,271	1,271	7,448	3,464				
合計	指定管理料	0			0				
参考:職員人件費 0 0 62,660 項目 阿蘇霊照苑 ストックヤード BDF 旧加悦最終処分場 臨時職員賃金 3,582 0 0 0 光熱水費・燃料費 4,489 202 0 324 通信料・手数料 39 0 0 0 0 使用料・賃借料 25 614 0 0 321 備品購入費 585 0 0 0 0 0 所・医薬材料費 49 0	その他	1,300	1,300	2,000	1,285				
項目 阿蘇霊照苑 ストックヤード BDF 旧加悦最終処分場 臨時職員賃金 3,582 0 0 0 近橋平・燃料費 4,489 202 0 324 通信平・手数料 39 0 0 0 使用料・賃借料 25 614 0 0 消耗品費 585 0 0 0 所 医薬材料費 49 0 0 0 修繕 維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 を考:職員人件費 0 0 0 0 取財費・燃料費 253 519 31,224 通信料・手数料 0 0 1,542 使用料・賃料料 0 0 6,554 消耗品費 5 0 9,835 備品購入費 0 0 6,554 消耗品費	合計	13,905	11,992	19,926	50,022				
監時職員賃金 3,582 0 0 0 324 3489 202 0 324 通信料・手数料 39 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	参考:職員人件費		0	0	62,660				
光熱水質・燃料費 4,489 202 0 324 通信料・手数料 39 0 0 0 使用料・賃借料 25 614 0 0 消耗品費 585 0 0 0 321 備品購入費 50 0 0 0 0 0 修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 2,571 3,571	項目	阿蘇霊照苑	ストックヤード	BDF	旧加悦最終処分場				
通信料・手数料 39 0 0 0 使用料・賃借料 25 614 0 0 消耗品費 585 0 0 321 備品購入費 50 0 0 0 修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 そう計 16,254 6,961 0 0 本書: 職員人件費 0 0 0 0 項目 旧岩滝最終処分場 旧野田川最終処分場 合計 0 0 臨時職員賃金 0 0 0 1,242 0	臨時職員賃金	3,582	0	0	0				
通信料・手数料 39 0 0 0 使用料・賃借料 25 614 0 0 消耗品費 585 0 0 321 備品購入費 50 0 0 0 修繕・維持轉 49 0 0 0 修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 0 そ3: 職員人件費 0 0 0 0 0 0 近日日日日岩滝最終処分場 旧野田川最終処分場 合計 0	光熱水費·燃料費	4,489	202	0	324				
使用料・賃借料 25 614 0 0 消耗品費 585 0 0 321 備品購入費 50 0 0 0 修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 合計 16,254 6,961 0 4,245 参考: 職員人件費 0 0 0 0 取目 旧岩滝最終処分場 由野田川最終処分場 合計 6 臨時職員賃金 0 0 18,735 12,244 通信料・手数料 0 0 1,542 0 0 6,554 消耗品費 0 0 0 6,554 0 9,835 0 9,835 0 9,835 0 0 0 6,554 0 1,542 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <td< td=""><td>通信料・手数料</td><td>39</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></td<>	通信料・手数料	39	0	0	0				
消耗品費 585 0 0 321 備品購入費 50 0 0 0 期・医薬材料費 49 0 0 0 修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 本計 16,254 6,961 0 0 参考:職員人件費 0 0 0 0 項目 旧岩滝最終処分場 旧野田川最終処分場 合計 臨時職員賃金 0 0 18,735 光熱水費・燃料費 253 519 31,224 通信料・手数料 0 0 6,554 消耗品費 0 0 6,554 消耗品費 0 0 9,835 備品購入費 0 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 0 6計 2,452		25	614	0	0				
備品購入費 50 0 0 0 賄・医薬材料費 49 0 0 0 修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 合計 16,254 6,961 0 0 4,245 参考:職員人件費 0		585	0	0	321				
期・医薬材料費 49 0 0 0 修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 0 合計 16,254 6,961 0 0 0 参考:職員人件費 0 0 0 0 0 0 協時職員賃金 0 0 18,735 0 31,224 0 0 1,542 0 <		50	0	0	0				
修繕・維持補修費 4,305 11 0 2,571 委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 合計 16,254 6,961 0 0 0 夢考:職員人件費 0					0				
委託料 2,976 6,134 0 1,029 指定管理料 0 0 0 0 その他 154 0 0 0 合計 16,254 6,961 0 0 参考:職員人件費 0 0 0 0 頂目 旧岩滝最終処分場 旧野田川最終処分場 合計 0 0 監時職員賃金 0 0 18,735 0 31,224 通信料・手数料 0 0 1,542 0 6,554 0 6,554 0 1,542 0 0 6,554 0 9,835 0 9,835 0 0 3,651 0 19,225 0 0 0 49 0 0 19,225 0		4,305	11	0	2,571				
指定管理料 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	委託料		6,134	0					
合計 16,254 6,961 0 4,245 参考:職員人件費 0 0 0 0 項目 旧岩滝最終処分場 旧野田川最終処分場 合計 臨時職員賃金 0 0 18,735 光熱水費・燃料費 253 519 31,224 通信料・手数料 0 0 1,542 使用料・賃借料 0 0 6,554 消耗品費 0 0 8,651 賄・医薬材料費 0 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660				0	0				
参考: 職員人件費	その他	154	0	0	0				
項目 旧岩滝最終処分場 旧野田川最終処分場 合計 臨時職員賃金 0 0 18,735 光熱水費・燃料費 253 519 31,224 通信料・手数料 0 0 1,542 使用料・賃借料 0 0 6,554 消耗品費 5 0 9,835 備品購入費 0 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660	合計	16,254	6,961	0	4,245				
臨時職員賃金0018,735光熱水費・燃料費25351931,224通信料・手数料001,542使用料・賃借料006,554消耗品費509,835備品購入費008,651賄・医薬材料費0049修繕・維持補修費1,365019,225委託料8291,33325,755指定管理料000その他006,039合計2,4521,852127,609参考:職員人件費0062,660	参考:職員人件費	0	0	0	0				
光熱水費・燃料費25351931,224通信料・手数料001,542使用料・賃借料006,554消耗品費509,835備品購入費008,651賄・医薬材料費0049修繕・維持補修費1,365019,225委託料8291,33325,755指定管理料000その他006,039合計2,4521,852127,609参考:職員人件費0062,660	項目	旧岩滝最終処分場	旧野田川最終処分場	合計					
光熱水費・燃料費 253 519 31,224 通信料・手数料 0 0 1,542 使用料・賃借料 0 0 6,554 消耗品費 5 0 9,835 備品購入費 0 0 8,651 賄・医薬材料費 0 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660	臨時職員賃金	0	0	18,735					
通信料・手数料 0 0 1,542 使用料・賃借料 0 0 6,554 消耗品費 5 0 9,835 備品購入費 0 0 8,651 賄・医薬材料費 0 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 0 その他 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660	光熱水費·燃料費	253	519						
使用料・賃借料 0 0 6,554 消耗品費 5 0 9,835 備品購入費 0 0 8,651 賄・医薬材料費 0 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 0 その他 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660	通信料・手数料	0	0						
消耗品費 5 0 9,835 備品購入費 0 0 8,651 賄・医薬材料費 0 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 0 その他 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660	使用料·賃借料	0	0						
備品購入費 0 0 8,651 賄・医薬材料費 0 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 0 その他 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660		5	0						
賄・医薬材料費 0 49 修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 0 その他 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660				•					
修繕・維持補修費 1,365 0 19,225 委託料 829 1,333 25,755 指定管理料 0 0 0 その他 0 0 6,039 合計 2,452 1,852 127,609 参考:職員人件費 0 0 62,660	賄·医薬材料費		0						
委託料8291,33325,755指定管理料000その他006,039合計2,4521,852127,609参考:職員人件費0062,660			0						
指定管理料 0 0 0 0 0 70 70 70 70 70 70 70 70 70 70			1,333						
その他006,039合計2,4521,852127,609参考:職員人件費0062,660									
合計2,4521,852127,609参考:職員人件費0062,660				6,039					
参考:職員人件費 0 0 62,660		2,452	1,852						
				·					
			合計	190,269	I				

【環境衛生施設管理・運営コスト内訳グラフ①(単位:千円)】



【環境衛生施設管理・運営コスト内訳グラフ② (単位:千円)】



野田川衛生プラントの管理・運営費が目立って大きくなっています。特に職員人件費やし尿処理の工程における設備稼働のための光熱水費や設備の維持補修にかかる経費が大きくなっています。全体的な経費内訳を見ると、特に大きいのは光熱水費・燃料費です。機械設備の稼働に多くの経費が掛かっています。また、検査や管理に掛かる委託料や維持経費も大きな割合を占めています。他の施設カテゴリーと比べ万遍なく経費が掛かっており、また総額も大きくなっています。

【参考:平成25年度利用料等収入】

(単位	エ	円)
(半)	\neg	\Box /

項目	加悦 最終処分場	岩滝 最終処分場	野田川 最終処分場	野田川衛生プラント	阿蘇霊照苑
利用料等収入	1,916	2,461	2,232	76,231	10,535

収入合計 93,375

② 整備等のコスト (建替え・解体コスト)

【整備時期の考え方】

- ☆耐用年到達時に建替え
- ☆耐用年数経過している建物は5年以内に建替え。
- ☆建替える必要性がないと考えられる建物は耐用年数到達時に解体 (耐用年数が既に到来している場合は5年以内に解体)

【コストの考え方】

- ○最終処分場:建設・・・3.8 万円/㎡
- ※建設コストは他団体の建設費から 1 ㎡あたりの単価を求め計算しました。 最も容量の大きい野田川 最終処分場 55,000 ㎡規模を一か所整備した場合を想定しています。
- ※解体コストは考慮していません。
- ○野田川衛生プラント:建替え・・・野田川衛生プラントが積算 解体・・・3万円/㎡
- ○阿蘇霊照苑:建替え・・・61.7万円/㎡ 解体・・・3万円/㎡
- ※建替えコストは他団体の建設費から1㎡あたりの単価を求め計算しました。火葬炉も含みます。
- ○ストックヤード、BDF供給施設:建替え・・・当初建設費どおり 解体・・・1 万円/㎡

これらの単価に現在の容量、敷地面積、延床面積を乗じて算出したコストは以下のとおりです。

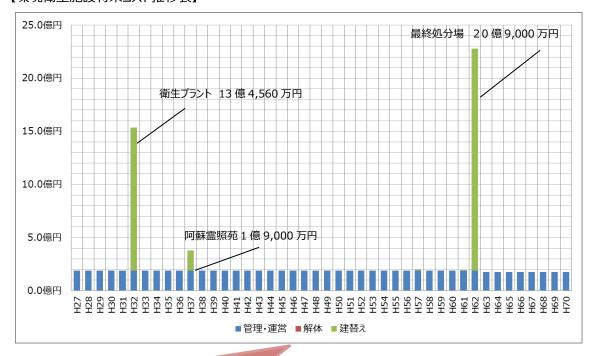
【環境衛生施設整備等コスト一覧】

施設名	建築年	耐用年数			建替え	解体	
			当初建設費	実施年度	コスト (解体費含む)	実施年度	コスト
加悦最終処分場	Н8	-	791,050		2,090,000	1	-
岩滝最終処分場	H11	-	798,827	H62		ı	-
野田川最終処分場	H15	-	1,349,461			ı	-
野田川衛生プラント	S 39	50年	131,635	H32	1,345,600	参考	30,657
阿蘇霊照苑	S 50	50年	不明	H37	188,925	参考	7,140
会葬者待合所兼事務所	S 63	35年	不明	пэ/	100,925	参考	2,046
ストックヤード	H17	40年	7,070	H57	7,070	参考	3,900
BDF供給施設	H21	40年	3,211	H61	3,211	参考	85

合計 3,634,806 合計 43,828

管理・運営コスト(平成 25 年度実績をベースに横置き)も含めた将来コストの推移は以下のとおりです。

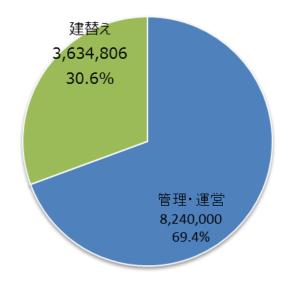
【環境衛生施設将来コスト推移表】



コスト総額約 118.7 億円 (整備 36.3 億円、解体費 0 円、管理・運営 82.4 億円)

[※]旧最終処分場は除外しています。

【環境衛生将来コスト内訳グラフ(単位:千円)】



その5 まとめ

1 現状·課題

●利用状況

環境衛生施設は、それぞれ目的・特性が異なりますが行政運営上必要な施設ですので、環境衛生施設というカテゴリー内で利用の多寡を比較することはあまり妥当ではありません。しかしながら、野田川衛生プラントでは下水道の普及により処理量が減少している状況であり、今後、施設整備のために現状並みの設備を整備するということにはならない状況にあると言えます。

●老朽化状況

最終処分場に関しては調査により最も長い野田川最終処分場で平成62年度まで使用が可能ということですが、少しでも延命できるように工夫と努力が必要になります。

野田川衛生プラントは建物自体が耐用年数を超過していますので、機械設備も含めて何らかの対策が必要になりますが、整備費が莫大になることから現状にあった形での整備が必要です。

阿蘇霊照苑についても、古くからこの地域唯一の火葬場として安定稼働に努めてきましたが、施設の老 朽化が進んでおり、何らかの対策が必要であると考えます。

●コスト状況

管理・運営にかかるコストですが、環境衛生施設というカテゴリーにしたものの、それぞれの施設によって目的や特性が様々であり、例えば利用者当たりのコストや1㎡当たりのコストなどを比較することは妥当ではないと考えます。廃棄物等の処理を行う場合、処理に係るコスト(設備を稼働させる光熱水費など)や設備

維持に関するコスト(設備の修繕や環境基準保持のための経費など)が大きくなっていますが、他の施設カテゴリーに比べ、合併前は広域連携の枠組みで運営していた施設(野田川衛生プラント、阿蘇霊照苑)があり、そういった施設が新町唯一の施設となっていますので、施設の統合・廃止によるコスト軽減は望みにくく、運営の在り方を見直すことでコストを抑えることの方が効果的であると考えます。

一方で最終処分場については埋め立て可能容量に達した施設から廃止することになり、予定では平成38年度以降は野田川最終処分場だけになります。役目を終えた最終処分場は廃止のための処理を行う必要がありますが、管理・運営コストの軽減が図られることになる見込みです。

一方、整備に係るコストですが、やはり耐用年数を迎える野田川衛生プラントの整備が大きな課題です。 現在、下水道普及に伴うし尿処理のあり方を、近隣の宮津市、伊根町、そして京都府とともに協議をして いますので、ここでお示ししています 13 億 4,560 万円というコストは何も対策を講じない場合のコストとお考 えください。

最終処分場については、平成 62 年頃に新たな施設を建設しなければならない状況にあります。規模や 処理方法を調査した上で整備コストも抑制するような工夫が必要となります。

●現状のまとめ

環境衛生施設は町内唯一の施設が多く、合併のスケールメリットに即して廃止することは難しいと考えます。一方で、施設は老朽化が目立つものもあり、その整備に多額のコストがかかることから、今後の利用状況や新たな処理方法などの研究を進め、そのコストを抑える努力が必要です。特に野田川衛生プラントは現状と同様の施設を整備すると 13 億 4,560 円のコストがかかると試算されており、同様の課題を抱える宮津市や衛生プラントにし尿処理を委託している伊根町と一緒にし尿処理のあり方を検討しています。

2 今後の展望

●管理・運営について

環境衛生施設の管理・運営方法について、平成 27 年度かから阿蘇霊照苑が直営から指定管理制度に移行しました。その他の施設においても民間活力を導入した管理・運営方式を検討することになります。

その6 参考事項

① 最終処分場の建設と廃止について

最終処分場の建設はどれほどの期間がかかるでしょうか。「広い場所があるからすぐに建設しよう」ということには当然なりません。廃棄物を埋め立て処分する施設ですので、環境にどのような影響が出るのか調査をしなければなりません。その上で最終処分場施設整備計画を策定し、環境大臣の承認を得ます。そして同時に建設予定地の地元との協議・用地取得という工程を経て工事にかかるわけですが、全体を通して、供用開始までは少なくとも5年はかかると言われています。最終処分場は環境面での負担が想定

されることから施設を受け入れる地元には時間をかけて説明し合意を得ること、周辺環境に及ぼす影響について十分調査することに時間を要することになります。

【最終処分場施設整備例】

項目	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	備考
基本計画·調査·地元協議·用地取 得等	-					次年度になることも
基本設計・実施設計	•	•				次年度になることも
工事						次年度になることも
交付金(申請・実績報告など)						
設置許可申請等	***************************************					工事着工の60日前

一方で、最終処分場の廃止については、埋め立て終了後に覆土などを施し閉鎖した後、経過を見ながら、水質やガス発生などの環境についての調査・検査を行い、国が定める基準をクリアしていることが認められれば廃止となります。基準は多岐にわたっており、必要な検査だけでも2年以上の期間を要します。与謝野町でも旧最終処分場で廃止に向けた検査を行っています。廃止までの間は施設から排出される水は適正に処理しなければならず、そのための経費がかかることになります。

② 野田川衛生プラントの処理工程

野田川衛生プラントでし尿処理を行う工程は以下のとおりです。かなり簡素化して示していますが、幾重に も処理が行われます。最終的に野田川に放流しますので、環境基準の適合した処理を行うには手間も費用 もかかります。

